

# 小島剛一氏のラズ語辞書刊行を祈念する会へのお誘い

ラズ語は、トルコ共和国北東端とグルジア南西端に主要語域のある非圧迫言語・絶滅危惧言語です。この言語を研究されてきた小島剛一さんが、ラズ語の辞書の刊行を計画しています。

辞書の刊行は、絶滅危惧言語を保存するために資することであり、言語学にとって、人類にとって重要であることはもちろんですが、何よりラズ語話者にとって、ラズ語を保存し、持続させていくために、ラズ語の辞書が刊行されることは重要な意味を持つということです。そのために、ラズ語トルコ語日本語を対照した辞書の刊行を実現したいと考えます。どういう性格の辞書が必要かと考えますと、今、必要なのは、言語を保存し、記録するための網羅的に言語を記述する包括した比較的大きな辞書ということになります。

辞書刊行については、日本国内においての需要が、現実的に大きいとは思われず、商業的な出版は困難であるのが現状です。何らかの助成金を求めることが必要であり、その方法は模索すべきと思いますが、それのみに頼らず、ラズ語の辞書を刊行することに賛同下さる方に呼びかけ、個人的な篤志によりまして、刊行を目指したいと思えます。資金としては、網羅的な辞書の場合であれば、500万円程度は必要と試算します。

今回の呼びかけにお答え下さる方がどのくらいいらっしゃるのかということは、まだ分かりません。刊行について支援して下さる賛同者を募りました上で、実際の刊行計画を立案し、その主旨を、賛同者にはかりたいと考えます。

このような計画にご賛同下さいます方は、どうぞご連絡先をお教えいただけましたら、幸いです。一口1万円として、募集する予定です。

小島剛一氏によるラズ語辞書刊行を祈念する会

仮代表 松本 功

ひつじ書房 112-0011 東京都文京区千石 2-1-2 大和ビル 2F

03-5319-4916 fax03-5319-4917

toiawase@hituzi.co.jp

詳細が決まり次第、刊行計画書をお送りします。お目通しの上、ご寄付をお願いすることになります。500口のうち、半分以上の見通しが立ちましたところで、刊行をすすめることになると思えます。現在、寄付をして下さる意志のある方を募集しております。また、ご賛同下さる方を増やしていきたいと考えていますので、お知り合いの方にもおすすめ下さいますと幸いです。

## 昨年ご賛同下さった皆様およびご賛同をお考え下さっている方へ

ラズ語辞書刊行の支援者を募集いたしますことについて

一昨年から「ラズ語辞書刊行の支援者を募集」しています。2013年は、東京で1回の講演会を行いました。2014年には大阪（MARUZEN & ジュンク堂書店 梅田店）、東京（アジア文化会館）、秋田（秋田県生涯学習センター）の3箇所で講演を行いました。講演会による告知を行いまして、一口1万円で支援を募りまして、80名の方のご賛同の表明をいただきましたことをご報告申し上げます。ご賛同を表明して下さった方には御礼申し上げます。

これらのご支援のもとに、2015年は神戸、秋田、東京で講演会を行います。加えまして、現在、いろいろなテーマで行われていきますクラウドファンディング（インターネットを使った出資および賛同者を集める仕組み）の方法を用いまして、インターネット上で賛同者を集めることも考えています。これらの方法を含めまして全体として250口のご支援を募りたいと思っています。このご支援・ご賛同のもとに、実際の編集、出版作業に入ろうと考えています。

来年は賛同していただけます方々に具体的にご支援をどのように行っていくのかについて、詳細な計画と約束を決めたいと思っています。その具体的な案、刊行についての支援と刊行された辞書について、ラズ人たちに届けることの支援について細かく決めたいと思っています。現在は1万円ほどの金額で、1冊とその書籍をラズ人のもとに送ることを考えていますが、もう一口1万円という金額よりも少し少額での応援のようなものから、金額を増やしたより大きな支援の方法まで細かく決めまして、ご説明を申し上げたいと考えています。実際にお金を動かしますのはその段階でと考えています。

2015年の現在は、賛同者の募集をはじめました翌々年で、第三段階ですので、現時点では賛同者を募る告知活動を行っていると思って下さいましたら、幸いです。上記のような過程を経まして、具体的な計画を元にご相談のご連絡を申し上げます予定です。

小島剛一氏によるラズ語辞書刊行を祈念する会  
仮代表 松本 功

私は、小島剛一氏によるラズ語辞書刊行を祈念する会の主旨に賛同します。

日付け

---

お名前

---

ご住所

---

お電話番号

---

メールアドレス

---